

星見ヶ丘配水流量計取替工事特記仕様書

1 概要

本工事は、星見ヶ丘配水池に設置されている電磁流量計の取替を行うものである。

2 工事対象機器

星見ヶ丘配水池電磁流量計 1台

- ・製 造：アズビル株式会社
- ・形 態：検出器・変換器分離形

①検出器

- ・型 式：MGG12F-100PJ11LS8ACA-X-X
- ・口 径 φ100

②変換器

- ・型 式：MGG10C-MH3G-1A1X-A

3 工事内容

- (1) 既設電磁流量計の撤去およびそれらに付随する各種工事。
- (2) 機器の据付けおよびそれらに付随する各種工事。なお、配水管のボルト・ナットは再使用とし、各種設定は既設と同等のものとする。
- (3) 機器据付け後の試験調整等。
- (4) 本工事に際して必要な各種申請手続きおよび検査立会い。
- (5) その他、必要と思われるもの。

4 部品条件

交換部品に関しては、強度、耐摩擦性、耐食性等を十分考慮した構造および材質とすること。

5 施 工

- (1) 設計書に示された設備が、その機能を完全に発揮できるように施工すること（設計図書に明記のない場合でも、当然必要なことは誠実に施工すること。）。
- (2) 設計図書および監督員の承諾を得た承諾図および施工図等に従って施工すること。
- (3) 経験豊富かつ優秀な技術を有する技術者を従事させること。
- (4) 資格等（資格、検定および認定等）を必要とする業務について、当該資格等を有する者に行わせること。
- (5) 監督員が指示したものについては、監督員の検査を受けること。

- (6) 大型機材の搬入は、計画を立案し監督員の承諾を得ること。
- (7) 機器の据付けに当たっては周囲の環境に対して十分考慮すると共に、据付ける機器の性能を害さないよう水平垂直等に対して十分注意して施工すること。
- (8) 受注者は、工事による不良部品等の交換（指定交換部品を除く）又は、特別の機材を必要とする補修等が発生した場合、その内容を監督員に速やかに報告すること。
- (9) 受注者は工事現場が隣接する場合、又は同一場所において施工する別途工事のある場合は、常に相互協調して工事に支障をきたさないように処置しなければならない。
- (10) 現地にて作業を行う場合は、予め整場所や材料の保管場所を明示し、監督員に許可を得ること。
- (11) 本配水池は稼働中の施設であるため、施工する際は、処理場の運転や維持管理業務に支障が出ないように配慮すること。
- (12) 施工によって、支障が認められた場合は、速やかに作業を中止し、監督員の指示に従うこと。
- (13) 機器据付けに関して、機器の落下および破損がないよう施工を行うこと。

6 製品試験

機器材料について、製作工場において該当する下記試験および検査を行うこと。ただし、JIS 等に定められた試験法のあるものは、それに従うこと。

- (1) 形状寸法検査（製作材料、加工および組立の精度等）
- (2) 性能検査
- (3) 動作検査
- (4) その他、監督員が必要と認めた試験

以上のことについて、成績表を提出すること。

7 現地試験

試験要領書を提出し監督員の承諾後、下記の現地試験を行うこと。

- (1) 外観・構造検査
- (2) 単体調整・組合せ試験
- (3) その他、監督員が必要と認めた試験

以上のことについて、項目ごとに写真を撮影し、成績表を提出すること。

8 雑 則

各試験および検査の結果、不良箇所があれば指定の期日内に手直しを行い、手直し完了後監督員立ち会いのもとに再試験を行わなければならない。

9 法令等の遵守

- (1) 受注者は、施工を実施する際は、労働基準法、浄化槽法およびこれに関連する法令、条例ならびに規則等を遵守しなければならない。
- (2) 使用人に対する、諸法令等の運用および適用は、受注者の負担と責任の元で行うこと。
- (3) 適用を受ける諸法令等は、改定等があった場合は最新のものを使用すること。
- (4) 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。その保険証等の写しを監督員に提出すること。

10 住民との協調

受注者は、住民等からの要望、もしくは住民等と交渉があったときは、遅滞なく監督員に申し出て、その指示を受け、誠意を持って対応し、その結果を速やかに報告すること。

11 工程管理

日程の都合上、夜間や休日等に作業を行う必要がある場合は、事前にその作業内容、作業時間等について、監督員の承諾を得ること。

12 安全管理

(1) 労働災害防止

- ア 作業中は、気象条件に十分注意を払い、豪雨、出水、地震等が発生した場合は、速やかに対処できるような対策を講じておくこと。
- イ 現場の作業環境は、常に良好な状態を保ち、機械器具その他の設備は常時点検して、作業に従事する者の安全を図ること。

(2) その他

- ア 事故が発生したときは、直ちに監督員および関係公官署に報告するとともに、速やかに必要な措置を講じること。
- イ 前項の通報後、受注者は、事故の原因、経過および被害内容を調査し、その結果を書面により、直ちに監督員に届け出ること。